

高度な運用支援ツールとITILベースの運用で ハイブリッドクラウド運用の最適化を支援

クラウド技術は進化が早く技術革新が頻繁に発生しますが、運用の有識者の確保は困難であり、限られた要員で効率的にクラウドを運用することは、お客様にとって最重要課題となっています。

富士通は、国内外で培った豊富なIT運用の実践知を活かし、グローバルスタンダードに準拠したITSM・監視・脆弱性管理機能を備えたツールと、ITILをベースとしたオペレーションを組み合わせ提供します。

お客様は、ビジネスの状況変化やシステム要件に合わせて機能を選択するだけで、富士通が長年培ったベストプラクティス、ナレッジを詰め込んだ運用環境をスピーディにご利用いただくことができ、DX環境の運用最適化を実現することができます。



高度な運用支援ツールと経験豊富な富士通の人材で、お客様のインフラ運用を支援

サービスの特長

1 複数クラウド環境の一元管理

環境を問わず、共通的に監視・インシデント管理・脆弱性管理が可能なツールを提供し、お客様システムの運用管理を一元化します。

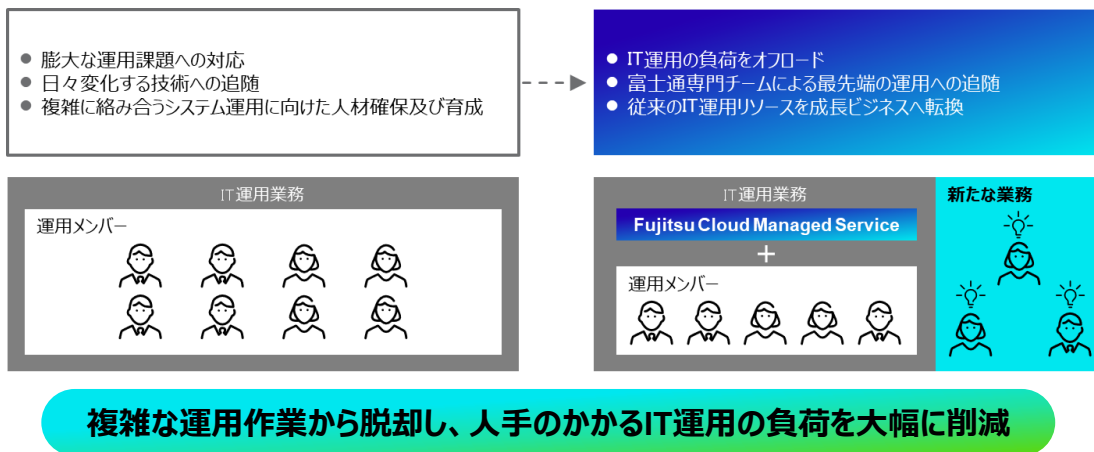
2 自動化技術による運用効率化

自動化技術を積極的に活用し、効率的なインフラ運用による運用コストの省力化を実現します。これにより、お客様は貴重な人材をより戦略的な業務へシフトさせ、ビジネスの成長を加速できます。

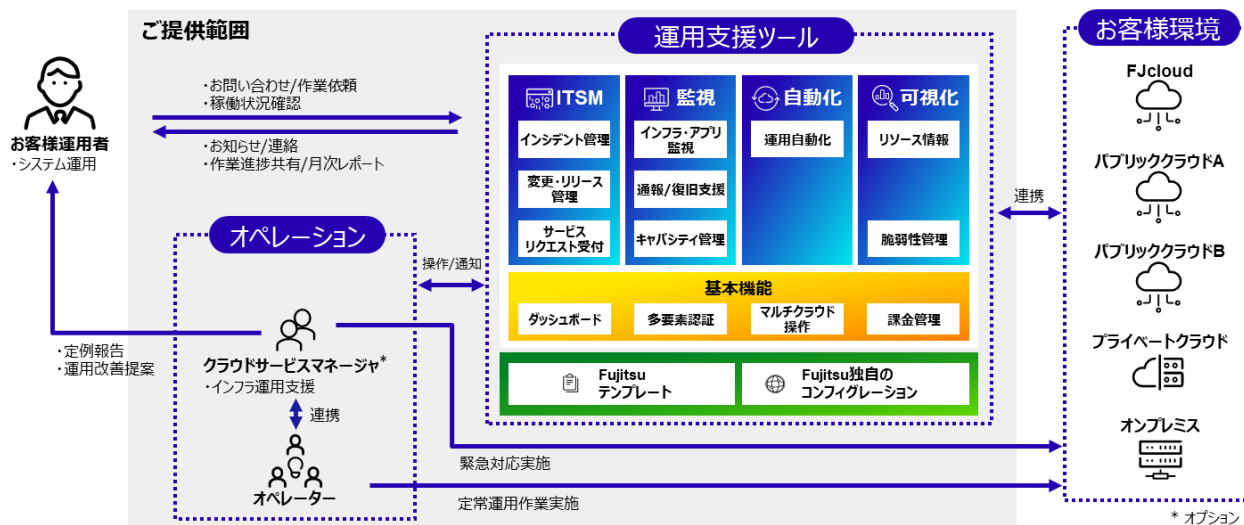
3 技術と経験で課題解決をサポート

運用効率化やコスト削減などのお客様の抱える課題解決に、経験豊富なエンジニアがお客様に寄り添いながら最適なサービスを提供し、ビジネスの継続的な成長をサポートします。

成長ビジネスのリソースシフトに貢献



サービスイメージ図



運用負荷の軽減により働き方を革新し、成長ビジネスへのトランスフォーメーションに貢献

ハイブリッドクラウド環境の運用の悩み

- ハイブリッドクラウド環境管理が煩雑**
Azure、AWS、オンプレミスなどバラバラのツールで運用しているため、セキュリティの管理や監視に難航
- IT運用の負荷を軽減したい**
数千回規模のクラウド仕様変更に対応するために、運用管理コストが上昇、IT管理者の確保も困難
- 業務の効率化やコスト削減をしたい**
最先端技術を使って、高度な運用を実現しつつ、コストも削減したい

💡 お困りごとを解決します！

- 1 ハイブリッドクラウド運用の最適化**
オンプレミスもクラウドも種類の制限なくインフラ環境のITSM/監視を一元管理、同一事象起因の監視（アラート数千件を集約して表示）に対応
- 2 自動化技術による運用効率化**
セキュリティ脆弱性情報を自動収集/可視化、1000種超のITSM作業依頼テンプレートで業務の運用効率化を実現
- 3 柔軟なオプションとサポート体制**
経験豊富なエンジニアが、お客様に寄り添いながら、お客様の抱える課題解決に最適なソリューションを提案し、ビジネスの継続的な成長をサポート

関連リンク

- ✓ [標準化・自動化によるハイブリッドクラウド構築のリードタイムを短縮（Hybrid IT Transformation Services）](#)

お問い合わせ先

富士通株式会社

富士通コンタクトライン（総合窓口）0120-933-200

受付時間：9:00～12:00および13:00～17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

[お問い合わせフォーム](#)

